第６次江差町総合計画　後期基本計画

（第３期江差町人口ビジョン・デジタル田園都市構想総合戦略）

# 令和７年度 実施計画

## 概要版

令和７年　２月

江　差　町

## 目次


1　第６次総合計画「後期基本計画」の概要 .....1
2　デジタル田園都市構想総合戦略について .....1
3　総合計画の構成 .....2
4　総合計画の期間 .....3
5　実施計画の構成 .....3
6　実施計画の公表 .....3
7　第６次総合計画の施策体系 .....4
8　成果指標　進捗管理シート .....5
分野別施策(1)　農業 .....7
分野別施策(2)　林業 .....10
分野別施策(3)　漁業 .....11
分野別施策(4)　商工業 .....13
分野別施策(5)　雇用創出 .....16
分野別施策(6)　観光・江差追分 .....18
分野別施策(7)　地域福祉 .....21
分野別施策(8)　子ども・子育て支援 .....22
分野別施策(9)　高齢者福祉・介護保険 .....26
分野別施策(10) 障がい者福祉 .....29
分野別施策(11) 健康づくり .....30
分野別施策(12) 地域医療 .....32
分野別施策(13) 貧困支援 .....33
分野別施策(14) 国民健康保険、後期高齢者医療 .....35
分野別施策(15) 学校教育 .....36
分野別施策(16) 社会教育 .....40
分野別施策(17) コミュニティ .....41
分野別施策(18) 移住・定住・交流 .....42
分野別施策(19) 土地利用 .....43
分野別施策(20) 住宅・住環境 .....46
分野別施策(21) 道路・河川 .....47
分野別施策(22) 港湾・漁港 .....49
分野別施策(23) 地域公共交通・情報通信 .....50
分野別施策(24) 上下水道 .....51
分野別施策(25) 環境衛生 .....52
分野別施策(26) 自然環境・エネルギー .....53
分野別施策(27) 公園 .....54
分野別施策(28) 消防・救急・防災 .....55
分野別施策(29) 交通安全・防犯・消費生活 .....56
分野別施策(30) 行財政運営 .....57
分野別施策(31) 広報・広聴・協働 .....58

## 1　第６次総合計画「後期基本計画」の概要

江差町総合計画は、当町が目指すまちの姿と、それを具現化するための基本方針等を定めるまちづくりの根幹となる計画であり、住民と行政が江差町の未来を共有するための指針となるものです。当町では、令和２年３月に「第６次江差町総合計画」を策定し、目指すべき将来像の実現に向け町政運営を進めてきました。

現在当町は、社会経済状況や人口構造の変化、デジタル化をはじめとする技術革新やアフターコロナにおける人々の意識と日常生活の回復等、様々な課題に直面しています。目まぐるしく変化する社会経済情勢の中でも、当町が今後も持続可能なまちとして発展を続けるためには、現在の計画を的確に評価分析するとともに、将来を見据えて、まちづくりの根幹となる総合計画を見直す必要があることから、前期基本計画の計画期間が令和６年度で終了することに伴い、令和７年度を初年度とする後期基本計画を策定しました。

第６次総合計画のまちづくりは、「自分たちごと」を施策推進のキーワードとして、目指すまちの姿を次のように定めています。

「誇りある暮らしを未来へ紡ぎ、みんなでつくる
自分たちごとのまちづくり」

前期基本計画と同様に、後期基本計画においても定めるだけに終わることなく、その進捗を「自分たちごと」として、江差町と関わる全ての方々と検証し共有しながら、目指すまちの姿の実現に向けて、育てていくこととしています。

## 2　デジタル田園都市構想総合戦略について

令和４年度に国は、まち・ひと・しごと創生総合戦略を改訂し、新たな中長期的な地方活性化の方向性として「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。内容としては、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を掲げ、デジタルの力を活用し地方の社会課題解決や魅力向上の取り組みを推進するものとなっています。

「デジタル田園都市国家構想総合戦略」は、従来のまち・ひと・しごと創生総合戦略の施策体系を継承しながら、デジタルの視点をさらに加えることで地方創生を図るというものになっています。

当町においては、前期基本計画で江差町まち・ひと・しごと創生総合戦略を重点施策として位置づけ、当町の地域活性化に向けた仕事づくりについての方策を記載していました。

まち・ひと・しごと創生総合戦略からデジタル田園都市国家構想総合戦略への移行に伴い、当町においてもデジタル田園都市構想総合戦略を重点施策と位置付けることとし、従来の仕事づくりを中心とした重点施策にデジタル化の視点を取り入れます。

## 3　総合計画の構成

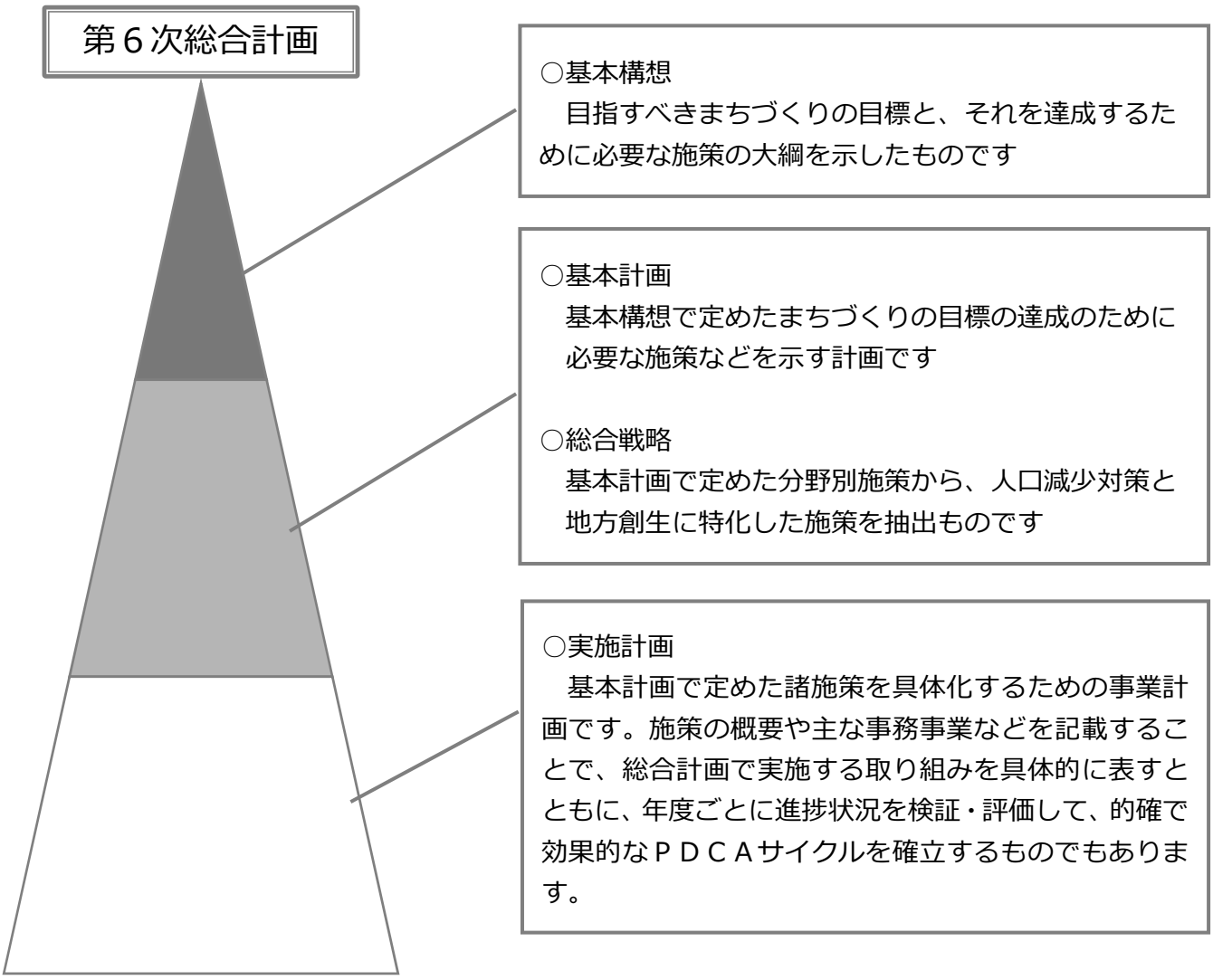
(1)　位置づけ

総合計画は、当町の取り組むまちづくり全分野の方向性を定めるものであり、産業、福祉、教育、都市基盤整備など、多岐にわたる個別の行政計画を統括するものです。

個別の計画との整合性を図りながら、まちづくり全体の方向性や重点とすべき問題など、分野横断的視点をもって当町の今後の政策を定め明らかにします。

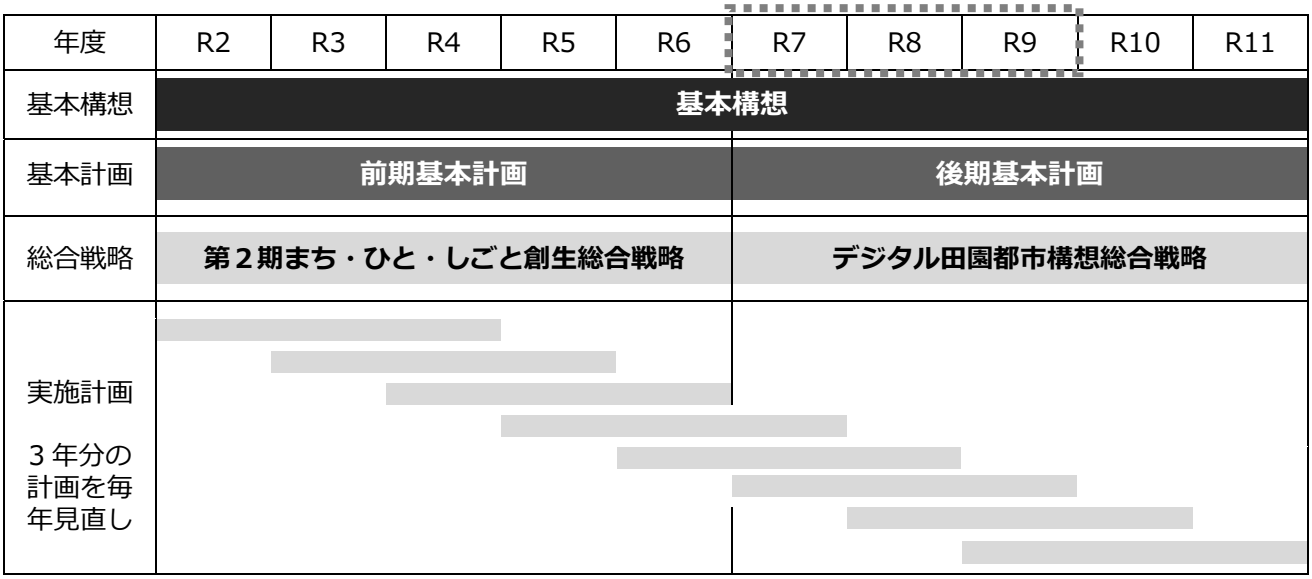
(2)　計画の構成

総合計画は、基本構想（長期ビジョン）、基本計画（中期ビジョン）、実施計画（事業）の３層構造にて、当町の事業の目指すところを示すものです。



## 4　総合計画の期間

総合計画の目標年次は令和11年度とし、基本構想、基本計画、実施計画それぞれの計画期間は次のとおりです。本計画に統合するデジタル田園都市構想総合戦略は、後期基本計画と同じ期間です。




## 5　実施計画の構成

(1)　実施計画は、基本計画の「分野別施策」ごとに整理しています。

(2)　実施計画は、前年度の実績、今年度～次々年度の３年間の計画を毎年度更新していきます。

(3)　後期基本計画で掲げた５年後のＫＰＩ（重要業績評価指標）と成果指標の達成状況を管理していきます。ＫＰＩ及び成果指標の基準値は、令和５年度時点としています。

※令和７年度実施計画に限り、前期基本計画で掲げた５年後（基準値を平成30年度、目標値を令和６年度としています）のＫＰＩと成果指標の達成状況を管理します

(4)　分野別施策の「重点施策」「継続施策」については、それぞれに紐づく施策ごとに、総合計画本編に掲げたうちから、主な事業（政策的施策、総合戦略に関連する施策、成果指標の達成に密接な施策等）ごとに、ＰＤＣＡサイクルがわかるよう整理しています。また、総合戦略との関係性についても記載しています。

(5)　ＫＰＩ及び成果指標の達成状況、各施策の取組状況等を総合的に検証して、当該年度の総括的評価を実施しました。検証・評価は、内部評価（担当課）と外部評価（江差町総合計画等検証委員会）にて実施しました。

## 6　実施計画の公表

実施計画の検証・評価結果については、江差町総合計画策定条例（令和元年条例第11号）第７条の規定に基づき、町公式ホームページ等で公表します。

## 7　第６次総合計画の施策体系

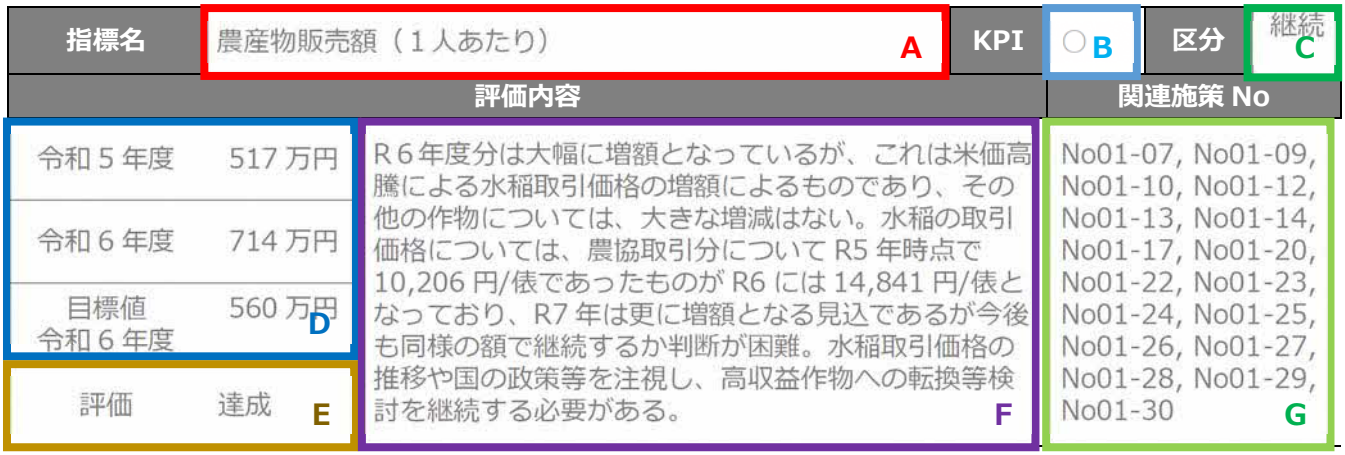
| 基本構想 | | 基本計画 | |
|---|---|---|---|
| 目指すまちの姿<br>誇りある暮らしを未来へ紡ぎ、みんなでつくる自分たちごとのまちづくり<br>工工町、江差。 | 基本目標１<br>経済基盤を持続させる産業の振興 | 分野別施策(1) | 農業 |
| | | 分野別施策(2) | 林業 |
| | | 分野別施策(3) | 漁業 |
| | | 分野別施策(4) | 商工業 |
| | | 分野別施策(5) | 雇用創出 |
| | | 分野別施策(6) | 観光・江差追分 |
| | 基本目標２<br>あたたかなつながりのある地域・ひとづくり | 分野別施策(7) | 地域福祉 |
| | | 分野別施策(8) | 子ども・子育て支援 |
| | | 分野別施策(9) | 高齢者福祉・介護保険 |
| | | 分野別施策(10) | 障がい者福祉 |
| | | 分野別施策(11) | 健康づくり |
| | | 分野別施策(12) | 地域医療 |
| | | 分野別施策(13) | 貧困支援 |
| | | 分野別施策(14) | 国民健康保険、後期高齢者医療 |
| | | 分野別施策(15) | 学校教育 |
| | | 分野別施策(16) | 社会教育 |
| | | 分野別施策(17) | コミュニティ |
| | | 分野別施策(18) | 移住・定住・交流 |
| | 基本目標３<br>住民が元気に安心して暮らせる生活環境づくり | 分野別施策(19) | 土地利用 |
| | | 分野別施策(20) | 住宅・住環境 |
| | | 分野別施策(21) | 道路・河川 |
| | | 分野別施策(22) | 港湾・漁港 |
| | | 分野別施策(23) | 地域公共交通・情報通信 |
| | | 分野別施策(24) | 上下水道 |
| | | 分野別施策(25) | 環境衛生 |
| | | 分野別施策(26) | 自然環境・エネルギー |
| | | 分野別施策(27) | 公園 |
| | | 分野別施策(28) | 消防・救急・防災 |
| | | 分野別施策(29) | 交通安全・防犯・消費生活 |
| | 基本目標４<br>住民とともにあり続ける行政運営 | 分野別施策(30) | 行財政運営 |
| | | 分野別施策(31) | 広報・広聴・協働 |

# ８　成果指標　進捗管理シート

ここでは、後期基本計画で掲げた５年後のＫＰＩ（重要業績評価指標）と成果指標の達成状況について管理・評価していきます。

※令和７年度に限り、前期基本計画で掲げた５年後（基準値を平成 30 年度、目標値を令和６年度としています）のＫＰＩと成果指標を管理・評価しています。

～成果指標　進捗管理シートの見方～




A「指標名」

31の分野別施策ごとに設定した成果指標名を記載しています

B「KPI」

成果指標の内、総合戦略のKPIに設定されている指標には「○」と記載しています

C「区分」

①「終了」：前期基本計画で終了している成果指標
②「継続」：前期基本計画から継続している成果指標
③「新規」：後期基本計画から新たに追加された成果指標
※「新規」はR7年度の実績から評価していくため、今年度の実施計画には掲載していません

D「年度ごとの成果指標の数値」

実施計画作成年度の前々年度、前年度の実績値及び目標年度における目標数値を記載しています
※前期基本計画の目標を評価するため、今年度に限り目標年度はR6年度となります

E「評価」

①「後退」：前々年度と前年度の数値を比較して、目標数値から遠ざかっている場合の評価
②「維持」：前々年度と前年度の数値を比較して、目標数値が変わらなかった場合の評価
③「前進」：前々年度と前年度の数値を比較して、目標数値に近づいている場合の評価
④「達成」：前年度の数値が目標数値以上の場合の評価

F「評価内容」

上記E「評価」の内容をもって、課題感や数値が増減した要因、成果指標が変化したことで町にどのような影響を与えたか、などの評価を記載しています

G「関連施策No」

当該成果指標が、R7年度実施計画（各施策）のどの施策と連動しているかを示しています

## (1) 農業

担当課　産業振興課

| 指標名 | 農産物販売額（１人あたり） | KPI | ○ | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 517万円 | R６年度分は大幅に増額となっているが、これは米価高騰による水稲取引価格の増額によるものであり、その他の作物については、大きな増減はない。水稲の取引価格については、農協取引分についてR5年時点で10,206円/俵であったものがR6には14,841円/俵となっており、R7年は更に増額となる見込であるが今後も同様の額で継続するか判断が困難。水稲取引価格の推移や国の政策等を注視し、高収益作物への転換等検討を継続する必要がある。 | No01-07, No01-09, No01-10, No01-12, No01-13, No01-14, No01-17, No01-20, No01-22, No01-23, No01-24, No01-25, No01-26, No01-27, No01-28, No01-29, No01-30 |
| 令和6年度 | 714万円 | | |
| 目標値 令和6年度 | 560万円 | | |
| 評価 | 達成 | | |

担当課　産業振興課

| 指標名 | 農地集積率（「地域計画」に掲げる地域内の農業を担う者（目標地図に位置付けられる者）） | KPI | ○ | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 68.0% | 担い手の逝去により、目標値には達しなかったものの、令和7年度には当該農地は担い手が集積しており、次年度の実施計画検証の際に集積率が向上する見込みであることから、「維持」とした。<br>令和6年度中においては、地域計画の策定の際に今後の営農計画や農地の集積について、アンケート及び協議の場において集約を行っており、今後も地域計画における協議の場等で具体的に「いつ・だれに」集積していくのかの精度を高めていき、担い手への農地集積を推進していく。 | No01-01, No01-02, No01-03, No01-06, No01-15, No01-16, No01-18, No01-19, No01-21 |
| 令和6年度 | 67.5% | | |
| 目標値 令和6年度 | 70.0% | | |
| 評価 | 維持 | | |

担当課　産業振興課

| 指標名 | 新規就農者・法人数 | KPI | ○ | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 累計2人（又は法人） | 目標値と同数のため「維持」とした。R7年度にも1人新規就農しているが、農地の取得や農業用機械の取得が就農するにあたっての障壁となっている。特に農地については、規模の縮小や離農する際には既に当事者間で今後誰が作付けするか決まっているケースが多く、地域の農業者と接点がなければ取得することは困難。また、当町の農地は集積が進んでいないことから飛び地となっている地区が多く、暗渠等の整備が進まず条件が良くない農地も散見される。このことから、地域計画等における今後の営農計画の把握や基盤整備による農地集積・農地条件の改善を推進していくことで、希望する者だけではなく「就農希望者を探しに行く」「就農したくなるようなアプローチ」等の施策についても、検討及び推進していく。 | No01-04, No01-05, No01-08 |
| 令和6年度 | 累計2人（又は法人） | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 累計２人<br>（又は法人） | | |
| 評価 | 維持 | | |

担当課　産業振興課

| 指標名 | アスパラガスの作付棟数（100坪ハウス換算）※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 85棟 | 近年の資材費の高騰や作付農業者の高齢化等により、新規のハウス建築がなかった。ハウス建築の補助を行っているが、併せて新規就農者を含めた若年の農業者に対しアスパラガス作付けをより進行していく必要がある。 | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 85棟 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 110棟 | | |
| 評価 | 維持 | | |

担当課　　産業振興課

| 指標名 | アスパラガスの株の更新（100坪ハウス換算）※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | ９棟 | アスパラガスの作付棟数と同様。 | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 0棟 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 50棟 | | |
| 評価 | 後退 | | |

## (2) 林業

担当課　産業振興課

| 指標名 | 森林整備面積<br>※植栽、下刈り、枝打ち、間伐、路網整備等に関する面積 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 28.89ha | R6単年度では、森林整備地域活動支援交付金を活用した間伐により目標値を達成できた。これにより放置されていた人工林の森林整備により、森林のもつ公益的機能の充実につながった。 | No02-01, No02-02, No02-03 |
| 令和6年度 | 111.85ha | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 77ha | | |
| 評価 | 達成 | | |

## (3) 漁業

担当課　産業振興課

| 指標名 | 新規漁業就業者 | KPI | ○ | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 0人 | 現状は親族就業により目標は達成したものの、漁業者の高齢化、減少は続いていくことから、まずは、現役漁業者の維持と資源増大の取組や養殖事業など安定して漁業者が生活できる（儲かる）土台作りが必要である。 | No03-09, No03-10 |
| 令和6年度 | 1人 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 1人 | | |
| 評価 | 達成 | | |

担当課　産業振興課

| 指標名 | 二シン地産地消（江差産二シン活用件数）※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 8件 | 二シンの活用など件数は増加しており、イベントでの郷土料理の提供、甘露煮などの土産品での活用、飲食店や宿泊施設での提供をふくめ町内消費には一定程度繋がっているため指標終了。<br>一方で、二シンの提供は漁獲(確保)に左右され、３年連続で群来が確認されているものの、トド等の被害含め現状漁獲の不安定な状況が懸念される。 | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 10件 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 15件 | | |
| 評価 | 前進 | | |

担当課　産業振興課

| 指標名 | サクラマス活締め・神経締め単価（キロ単価）※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 37.0% | 目標は達成したものの、付加価値を上げることで町内外からの指名買いなど販路拡大に繋がっていることから、PRなど含め継続して取り組む必要がある。<br>・R2～R6：+37%～+60%の範囲で推移 | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | 43.0% | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 活締め・神経締めしたものの単価+20% | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

担当課　産業振興課

| 指標名 | 増養殖対象種※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | ５種 | 増殖魚種について、達成していることから指標終了となるが、補助の継続など、結果状況をふまえ判断していく必要がある。 | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | ５種 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | ５種 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

## (4) 商工業

担当課　産業振興課

| 指標名 | 商業者数（商業者数調査(北海道商工会連合会取りまとめ)） | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 110事業所 （R3年） | 経済センサスを基準に毎年度、商工会において商業者数を精査しているものだが、Ｒ３年経済センサスによる商業者数より事業者数が減少しているため［後退」と評価。<br>減少となった要因としては経営者本人またはその家族の高齢化等を起因として事業継続に終止符あるいは困難となり廃業または休業せざるおえない状況になったものだと推測される。また事業を継承する担い手が不在している状況も窺える。<br>これらの課題を踏まえ、商業者それぞれが自分事として早い段階で将来の経営像を整理し考えてもらう場の提供を検討しており、具体的には専門家（北海道引継ぎ支援センター）による定期的な個別相談会の開催を令和８年度から予定している。 | No04-01, No04-02, No04-04, No04-06, No04-07, No04-08, No04-09, No04-19 |
| 令和6年度 | 98事業所 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 120事業所 | | |
| 評価 | 後退 | | |

担当課　産業振興課

| 指標名 | 工業者数（経済構造実態調査(製造業)） | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | ８事業所 （R5年度） | R5年度実績と横ばいであったため、維持と評価したもの。<br>現行制度(町起業立地の促進及び雇用の奨励に関する条例による支援等の施策）の継続と有効的な活用に向けたブラッシュアップの検討。 | No05-01, No05-02, No05-03, No05-04, No05-05 |
| 令和6年度 | 8事業所 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 10事業所 | | |
| 評価 | 維持 | | |

担当課　まちづくり推進課

| 指標名 | 企業版ふるさと納税 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | ５件 | 企業への呼びかけを実施したこともあり、目標値を大幅に上回り達成することができた。<br>今後は目標値が寄附件数から寄附金額に変更となるため、寄附額増加に向けて関連企業へのＤＭ送付やマッチングサービス活用等の施策を練っていきたい。 | | No04-03 | |
| 令和6年度 | 12件 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | ３件 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

担当課　まちづくり推進課

| 指標名 | ふるさと応援寄附金額 | KPI | ○ | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 218,374千円 | 返礼品広告の有効活用や返礼品事業者と連携し、寄附者への迅速かつ丁寧な対応を実施することで、目標値を大幅に達成することができた。<br>寄附額増加に伴い、江差町自体の知名度向上につながり、ふるさと納税の寄附をきっかけに江差町に興味を持ち、実際に町を訪れた寄附者もいた。(返礼品事業者からの聞き取り)<br>また、返礼品の宿泊券を利用して来町する場合は、返礼品の寄附だけでなく、町内飲食店や観光施設を利用することで、町内の経済の活性化に繋がっている。<br>Ｒ7年度10月からは、ふるさと納税制度改正によりポイント廃止となるため、全体的な寄附者数の減少が予想され、江差町の寄附額減少等の影響を及ぼす可能性が高い。目標達成が厳しい状況になるが、寄附額増加に向けてリピーター・新規寄附者を獲得するための施策を練っていきたい。<br>また、道の駅事業者との返礼品開発も視野に入れながら、事業者の開拓・返礼品の開発を推進していきたい | | No04-03 | |
| 令和6年度 | 244,868千円 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 100,000千円 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

担当課　まちづくり推進課

| 指標名 | 江差の地場資源を活用した新商品の開発件数※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 35件 | 商品開発に係る経費を支援するまちづくり推進交付金制度により、事業者の新商品開発に対するハードルを下げることができた。また、ふるさと納税の返礼品開発においては、事業者と連携して新商品の開発を実施した。<br>各事業者の売上等への個別の効果については把握できていないものの、ふるさと納税関連の新商品については寄附額が伸びており一定の事業効果が確認されている。 | | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 106件 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 20件 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

担当課　まちづくり推進課

| 指標名 | ふるさと応援寄附金 返礼品数※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 179品 | 返礼品事業者と連携し出品交渉や出品事業者に対する手厚いサポートを実施し、目標値を大幅に上回り達成することができた。<br>今後も、寄附額増加に向けて主力返礼品を増やすため、事業者と連携して返礼品の開発を進めていきたい。 | | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 250品 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 130品 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

## (5)　雇用創出

担当課　　産業振興課

| 指標名 | 創業・起業件数 | KPI | ○ | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 累計9件 | 商工会における創業支援等や町支援制度の実績を踏まえ、平成30年度から累計が９件となるため［達成」と評価（カラオケインフォーエヴァー・喫茶香・カモメコーヒー・工事関係者向け宿泊施設ワークマンハウス）。<br>今後、商工係が所管する町起業立地の促進及び雇用の奨励に関する条例に伴う支援については大型事業者等を対象としているもので、小規模事業への創業起業には対応していない。空き店舗等の活用ではまちづくり推進交付金により支援することができるが、今後、目標達成を見据え、先進自治体の制度を参考としながら創業起業へバックアップできる制度を検討していきたい。<br>また、小樽商科大学との連携を踏まえ、地元中高生を対象とした起業家教育や経営シミュレーションゲーム等を通じて、起業者の育成や町内事業所での雇用促進に結びつけたい。 | No05-01, No05-02, No05-03, No05-04, No05-05 |
| 令和6年度 | 累計9件 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 累計８件 | | |
| 評価 | 達成 | | |

担当課　　産業振興課

| 指標名 | 求人数※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 1,311人 | Ｒ５年度実績より求人数が4%ほど減少しており目標数値に達しなかったため［後退」と評価。外国人労働者の雇用増加やハローワーク以外の求人チャンネルの多様化、求人事業者と求職者の雇用条件（勤務体制、求職者の年齢）等のミスマッチ等が要因と推測される。<br>地元求職者等の就労環境、雇用機会の確保等に向けて町内での起業創業への施策継続及びハローワーク等関係期間との連携強化を図っていく。 | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 1,266人 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 1,700人 | | |
| 評価 | 後退 | | |

担当課　　産業振興課

| 指標名 | 有効求人倍率※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 1.17 | R5年度成果指標より倍率が上昇していることから「前進」と評価。<br>しかし、求人してもそもそも応募がない（求職者と求人事業者が求める雇用条件等へのミスマッチ）状況が見受けられる。<br>特に建設業や介護医療については国家資格の所有が条件であり、そこが応募へのハードルを高くしている可能性も窺える。 | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 1.28 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 1.4 | | |
| 評価 | 前進 | | |

## (6)　観光・江差追分

担当課　　追分観光課

| 指標名 | 観光入込客数 | KPI | ○ | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 249千人 | コロナ禍で落ち込んだ観光入込客数は徐々に回復してきているが、コロナ禍前の324千人とR6年度目標値には届かなかった。<br>また、R7年については休館する開陽丸記念館は町内で最も入込客数の多い施設であることから、休館に伴い入込数の減少は懸念されるが、日本遺産推進事業内で江差町会所会館内に開設した日本遺産ガイダンス施設への入込数が増加傾向にあるため、今後もツアー造成など日本遺産を中核とした観光振興を進めて入込数増加につなげたい。 | No06-01, No06-06, No06-07, No06-11, No06-12, No06-13, No06-14, No06-15, No06-17 |
| 令和6年度 | 271千人 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 382千人 | | |
| 評価 | 前進 | | |

担当課　　追分観光課

| 指標名 | 宿泊客延べ数 | KPI | ○ | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 19千人 | 前年度よりは数値は伸びてはいるが、R6年度目標値には届かなかった。姥神大神宮渡御祭や江差追分全国大会時は予約が取れないほど全ての宿泊施設が埋まる状況である。しかし、現状稼働率までは把握していないが各宿泊施設の部屋数と延べ宿泊者数から考えると特定の時期以外はキャパオーバーにはなっていない。特に冬期は宿泊客数が著しく減少することから、冬期の観光客数を増加する取り組みが必要。また、年間を通しての宿泊状況については工事関係者の利用が多くみられているのが現状であり、観光客の滞在時間を延ばし宿泊数の増加につなげる必要がある。 | No06-06, No06-18 |
| 令和6年度 | 21千人 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 26千人 | | |
| 評価 | 前進 | | |

担当課　追分観光課

| 指標名 | 旅行消費額 | KPI | ○ | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| | | 評価内容 | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 4,686円/人 | 前年度とほぼ横ばい状態となった。観光消費額の内、宿泊費の次に多いのが買い物、飲食となっていることから、旅行消費額を増やすため、新たな商品開発や観光コンテンツ充実化の他、買い物のできる場所や飲食のできる場所が求められている。そのため新道の駅で充実化するそれらの機能への誘客を図り、観光消費額の増加に期待したい。 | No06-21 |
| 令和6年度 | 4,992円/人 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 8,000円/人 | | |
| 評価 | 前進 | | |

担当課　追分観光課

| 指標名 | 来訪者満足度 | KPI | ○ | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| | | 評価内容 | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 83.1% | 前年度に引き続き来訪者満足度の目標値を達成しており、且つ前年度より数値が向上していることから現在の観光コンテンツ等が来訪者に満足してもらえていることが伺える。特に自然景観や観光施設の満足度は高く非常に満足をしてもらえている。一方体験プログラム等については、利用者の満足度は高いが、「利用していない」の回答が半数以上のため、どのように利用してもらうかの検討が必要。体験観光はかもめ島でのコンテンツが多いことから新道の駅の利用者をどのように誘客するかの検討をしていきたい。 | No06-03, No06-04, No06-05, No06-08, No06-09, No06-10, No06-16, No06-18, No06-19, No06-20 |
| 令和6年度 | 84.0% | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 80.0% | | |
| 評価 | 達成 | | |

担当課　　追分観光課

| 指標名 | リピーター率 | KPI | ○ | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 42.3% | 来訪者へ満足はしてもらえているが、それがリピーター獲得にはつなげられていない。各イベントのアンケート結果からイベント参加者のリピーターは多く見られる。観光客のリピーターの旅の目的としてはかもめ島、開陽丸、いにしえ街道が多いことから、今後の新道の駅建設に際し、日本遺産事業とも連動して、新道の駅を拠点にかもめ島、いにしえ街道に観光客を誘導する仕組みを構築することにより、リピーターを増加させていきたい。 | No06-06, No06-18, No06-19 |
| 令和6年度 | 35.6% | | |
| 目標値 令和6年度 | 60.8% | | |
| 評価 | 後退 | | |

## (7)　地域福祉

担当課　　町民福祉課

| 指標名 | 町内会加入率※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 67.4%<br>(2,689/3,988世帯) | 人口減少とともに世帯数、町内会加入世帯は減少しているが、加入率は現状維持。町内会加入者の異動が少なく、理由の多くが死亡である。未加入者の転出等による人口減少が同割合程度であるため、加入率が維持できている。加入率を72%達成のためには178世帯の増加が必要であり、各町内会平均6世帯の増加することは、現在の人口減少、高齢化の状況の中では困難であった。 | | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | 67.4%<br>(2,629/3,898世帯) | | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 72.0% | | | | | |
| 評価 | 維持 | | | | | |

担当課　　町民福祉課

| 指標名 | 民生委員・児童委員・主任児童委員の充足※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 民生委員・児童委員29人<br>主任児童委員２人 | 令和4年～7年の任期で委嘱　初年度はほぼ定数で活動できたものの、次年度以降体調不良等により退任フルタイム労働者の増加や重責な業務である等の理由により後任が見つからない。 | | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | 民生委員・児童委員28人<br>主任児童委員1人 | | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 現状値維持 | | | | | |
| 評価 | 維持 | | | | | |

## (8)　子ども・子育て支援

担当課　　町民福祉課

| 指標名 | 幼児教育・保育待機者 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | ０人 | 利用希望者は全員入所できており、保護者の就労支援に繋ぐことができている。 | | No08-05, No08-16, No08-17 | |
| 令和6年度 | ０人 | | | | |
| 目標値 令和6年度 | ０人 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

担当課　　町民福祉課

| 指標名 | 学童保育所 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | ３か所 | 学校区につき１か所の設置ができており、就労家庭児童の放課後の居場所確保のほか、保護者の就労支援に繋ぐことができている。 | | No08-05 | |
| 令和6年度 | ３か所 | | | | |
| 目標値 令和6年度 | ３か所 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

担当課　町民福祉課

| 指標名 | 子育て支援拠点事業利用者数※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 308人、152世帯 | 子育て支援拠点事業は、幼児教育・保育施設を利用していない未就学児を対象としている事業であり、日明保育園の開放により未就学児への遊び場の提供や、子育て世帯の支援を目的として実施している。女性の就業率の向上により保育施設利用者が増加傾向にあるため、子育て支援拠点利用者が減少しているものと評価している。 | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | 84人、82世帯 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 現状維持 | | | | |
| 評価 | 後退 | | | | |

担当課　町民福祉課

| 指標名 | 放課後児童支援員・補助員※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | ７人 | 目標値を達成できたことで、支援体制の充足をするができた。学童保育所の適切な運営に繋げることができた。 | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | ９人 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | ８人 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

担当課　町民福祉課

| 指標名 | 児童虐待（児童相談所集計）※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | ３件 | 虐待件数０件を目標値として、母子保健と児童福祉担当課で子育て世帯の見守りをしてきたところではあるが、３件発生という結果となった。虐待を完全に無くすことが理想ではあるが、令和7年度からは「児童虐待対処割合」を100%とする新指標を設定し、児童虐待防止に向けて取り組みを進めていく。 | | No08-03 | |
| 令和6年度 | ３件 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | ０件 | | | | |
| 評価 | 維持 | | | | |

担当課　健康推進課

| 指標名 | 子育て応援券利用率※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 69.7%<br>※速報値。確定は翌々年度 | 10か月児健診時のアンケートの結果、子育て応援券が江差町で子育てを行うのに「非常に役に立つ」「役に立つ」と回答した方は100%（アンケート無回答者2名を除く）と大変好評である。<br>アンケートにより、対象品目や対象年齢・利用店舗についてニーズを把握し、現状の満足度を維持していけるよう努めていきたい。 | | No08-13 | |
| 令和6年度 | 77.7%<br>※速報値 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 98.0% | | | | |
| 評価 | 前進 | | | | |

担当課　健康推進課

| 指標名 | 不妊治療の相談件数※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 累計19件 | 相談された方が申請につながっている。<br>（１）町広報で不妊治療助成及びメール相談の実施を周知した。周知により不妊治療相談の件数が新規で4件続いている。<br>（２）不妊治療助成相談から不妊治療を開始し、不妊治療費助成申請するまでには4ヶ月程度かかるケースが多く年度をまたぐケースもある。相談された方は全件1年以内に申請がきており、妊活する意欲につながっている。 | No08-14 |
| 令和6年度 | 累計23件 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 累計24件 | | |
| 評価 | 前進 | | |

担当課　町民福祉課

| 指標名 | 子育て世帯における女性の就業率向上（幼児教育・保育施設の入所率向上）※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 75.2% | 幼児教育・保育施設の待機者を発生させないことにより、女性の就業率上昇に繋げることができた。 | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 82.1% | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 80.0% | | |
| 評価 | 達成 | | |

## (9)　高齢者福祉・介護保険

担当課　　高齢あんしん課

| 指標名 | 介護予防教室の開催 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 10か所延べ753人 | 今年度は「維持」という評価になった。参加者はある程度、身体的に維持できていると評価する反面、参加者が固定化しており、新規参加者や担い手が不足している状況にある。当該教室の対象は65歳以上の一般高齢者の約2,000人程度であり、参加者割合は1割にも満たない。参加者からは「参加するのが楽しみ」「出かけることが張り合いになる」等と聞かれ、介護サービス利用への移行や施設入所への期間を延伸していると考察する。今後は開催会場の検討や自主活動へ移行できるような仕掛けづくりを検討していきたい。 | No09-02, No09-04, No09-07, No09-08, No09-19, No09-20 |
| 令和6年度 | 10か所延べ778人 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 15か所延べ700人 | | |
| 評価 | 維持 | | |

担当課　　高齢あんしん課

| 指標名 | 介護保険制度出前講座の開催※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 2回 | 「認知症」をテーマにした依頼が年々多くなっており「前進」と評価した。多くなっている要因としては、「認知症」に対する意識が高まっていると考察する。認知症に限らず、参加者に関連する情報を提供することで新たな気づきや再確認となり、参加者への有益に繋がっている。今後も勉強会開催の周知を行いながら、参加者数で評価を行っていくため、終了とする。 | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 6回 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 8回 | | |
| 評価 | 前進 | | |

担当課　高齢あんしん課

| 指標名 | 認知症サポーター養成講座の開催※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 2回 | 高校での開催が定例になってきており、継続開催としては評価できる。実施回数としては、少なく「維持」と評価。R6年度時点で認知症サポーターは910名おり、サポーター数が多いほど、認知症への理解者・支援者が増えていると考える。サポーター養成講座の参加者からは「認知症の方の気持ちがわかった」「困っている方がいたら、声をかけたい」等の声が聞かれ、認知症への理解が深まっていると評価できる。今後は新規での開催を周知しながら、参加者数で評価を行っていくため、終了とする。 | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | 3回 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 8回 | | | | |
| 評価 | 維持 | | | | |

担当課　高齢あんしん課

| 指標名 | 認知症カフェの開催※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 24回 | 2会場で定例開催し、「達成」と評価。参加者からは様々な内容で実施し、地域の方と繋がることができると好評である。また、認知症への理解が深まり、地域との繋がるきっかけになっている。今後は、新規参加者や当事者の参加を増やしていくこととし、参加者数で評価を行っていくため、終了とする。 | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | 23回 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 12回 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

担当課　　高齢あんしん課

| 指標名 | 見守りチーム江差加入数※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 119件 | 廃業等により加入脱退する店もあるが、新規加入もあり、評価としては「達成」。今後は新規加入を増やしながら、相談しやすい関係性を構築していくことを目指し、相談件数で評価を行っていくため、終了とする。 | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 116件 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 100件 | | |
| 評価 | 達成 | | |

## (10)　障がい者福祉

担当課　町民福祉課

| 指標名 | 地域生活支援拠点の構築※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 0か所 | R７年度末までに近隣４町（厚沢部、奥尻、乙部町）と広域設置に向けて協議中。<br>※「地域生活支援拠点」とは、障害児者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、居住支援や相談支援、地域の体制づくり等を構築すること。また近隣４町で広域に整備することにより、緊急時のサービス提供や体験の機会等の選択肢が広がり、単町で整備するよりも迅速に強力体制が得られ、相談者の負担軽減にもつながることとなる。 | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 0か所 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 1か所 | | |
| 評価 | 維持 | | |

## (11) 健康づくり

担当課　健康推進課

| 指標名 | 特定健診受診率 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 32.6%<br>（速報値） | 集団健診前の電話勧奨及び医療機関からの受診勧奨により、40代の受診及び通院中の健診未経験者の受診が昨年度より倍増した。しかし、脳ドック、人間ドックの受診率が伸び悩み、全体の受診率低下の要因となった。<br>令和5年度に実施した健康づくりアンケ―ト調査では、特定健診を受けていない理由について「通院中だから」「自覚症状がないから」と回答した割合が高く、通院による受診と健診の違いや、予防の観点からの健診の意義が理解されていないことが考えられ、脳ドック、人間ドックについても同様と推測される。健康に対する意識や健診受診の意識啓発と受けやすい健診体制（土日実施、Web予約など）の整備に努める。<br>受診率向上を目的にインセンティブとしてEZOポイント付与の取り組みを実施しているが、継続受診者が固定化されており、ポイント付与による新規受診者の発掘にはつながっていない。効果的なインセンティブとなるようポイント付与のあり方の検証が必要。<br>※受診率の全国平均：R5年度　38.2%<br>全道平均：R5年度　30.6%、　R6年度　31.4% | | | No11-01, No11-02,<br>No11-03, No11-04,<br>No14-07, No14-08 | |
| 令和6年度 | 31.7%<br>（速報値） | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 50.0% | | | | |
| 評価 | 後退 | | | | |

担当課　健康推進課

| 指標名 | がん検診受診率 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 平均6.3% | 受診者における後期高齢者の割合が増加しており、がん対策基本計画指針に沿った40-69歳（子宮がんは20-69歳）の受診率は低下傾向。<br>令和5年度に実施した健康づくりアンケート調査では、「自覚症状がない」「必要性を感じない」「忙しくて時間が取れない」と回答した割合が高く、受診率が伸び悩む要因となっていることが考えらえる。<br>若い世代の受診率向上に向け、職域でのがん検診受診状況の把握を行うとともに、被扶養者等の検診を受ける機会の少ない層への周知を強化していく。また、健康に対する意識やがん検診の啓発及び受けやすい健診体制（土日実施、Web予約など）の整備に努める。<br>受診率向上を目的にインセンティブとしてEZOポイント付与の取り組みを実施しているが、継続受診者が固定化されており、ポイント付与による新規受診者の発掘にはつながっていない。効果的なインセンティブとなるようポイント付与のあり方の検証が必要。 | No11-01, No11-04, No14-07 |
| 令和6年度 | 平均6.3% | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 平均25.0% | | |
| 評価 | 維持 | | |

## (12) 地域医療

担当課　健康推進課

| 指標名 | 看護師等育成確保対策（修学資金貸付）を活用し町内医療機関へ就職した人数 | KPI | ○ | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 累計13人 | 貸付の周知を全道及び東北の看護学校へ送付するなど周知する地区を拡大しているが、看護学校だけでなく、地域の高校へ周知し、制度を早期に把握することでライフプランの選択肢の一つとして考える機会となる。<br>町の貸付制度を利用している方は、道南出身者が多く、地元の看護学校に在籍している方が多い状況。<br>地元の看護学校の入学者が減っていることや、すでに学生の出身地である他市町村の貸付制度を利用している方や看護師を目指す進学先として地元を離れ大学等へ進学する方もおり、新規貸付が伸びない要因として考えられる。 | No12-07 |
| 令和6年度 | 累計13人 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 累計23人 | | |
| 評価 | 維持 | | |

担当課　健康推進課

| 指標名 | 医師研究資金貸与件数※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 累計84件 | 過去に道立病院側の要望により、同じ医師が３年を超えても貸付を継続する制度設計になっており、常勤医師の人数確保に加え、同じ医師が長く道立江差病院で勤務できる体制を整えている。 | No12-04 |
| 令和6年度 | 累計94件 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 累計78件 | | |
| 評価 | 達成 | | |

## (13) 貧困支援

担当課　町民福祉課

| 指標名 | 生活保護受給率 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 4%<br>(270人/6,833人) | 実数・受給率はわずかに減少。生活保護廃止理由の多くは死亡によるもの。よって成果は不明。 | | No13-05, No13-06 | |
| 令和6年度 | 3.8%<br>(246人/6,460人) | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 4%<br>※現状から-15人 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

担当課　町民福祉課

| 指標名 | 生活困難児童世帯率※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 把握なし | 生活困難児童世帯数を把握する手段なし　(生活保護受給母子世帯数は把握しているが、生活実態は把握できていない)<br>関係機関・庁内関係課と連携した上で支援に向けた取り組みが必要 | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | 把握なし | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 現状より改善 | | | | |
| 評価 | 維持 | | | | |

担当課　　学校教育課

| 指標名 | 小中学校要保護・準要保護児童生徒割合※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 16.40% | 指標は前年より後退しており、関連施策により支援対象割合を減らすことはできなかったが、低所得世帯の費用負担が軽減されたことで、金銭的な事を理由とした教育格差の低減には効果は出ていると考える | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 16.67% | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 現状より改善 | | |
| 評価 | 後退 | | |

## (14)　国民健康保険_後期高齢者医療

担当課　　健康推進課

| 指標名 | 国民健康保険一人あたり医療費額 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 398千円 | R6年度目標値を達成できなかったこと、かつ、R5年度実績よりも多い医療費額の結果となった。<br>主な要因として入院費の増が特に影響していると思われ、骨折をはじめとした"損傷中毒"や"筋骨格"の医療費の割合が大きく増加していた。また、外来においては、これまで少数であったその他の諸症状による医療費の割合に増加傾向が見られた。このことから、国保世代からのフレイル予防の強化が喫緊の課題と考えられる。<br>また、総体的な医療費をみた際、本来高額な医療費が掛かるであろう長期入院のレセプトの割合は前年比△8.8%と下がっていたものの、医療費全体が増加していたことから、「短中期的」かつ「１回あたりが高額な治療」を要するケースが一定数あったものと思われる。<br>以上のことから、引き続き積極的な健診勧奨や保健指導、医療費適正化事業の推進等を通じ医療費の抑制に努めたい。<br>また、医療専門職の介入により重複受診・多剤処方等に対応できれば直接的な医療費の縮減効果が期待でき、専門職やこれに係る人員の増強、あるいは外部委託等についても検討していきたい。 | | | No14-03, No14-04, No14-05, No14-06, No14-08, No14-09, No14-10, No14-11 | |
| 令和6年度 | 445千円 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 368千円（10%減） | | | | |
| 評価 | 後退 | | | | |

担当課　　健康推進課

| 指標名 | 後期高齢者医療一人あたり医療費額 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 927千円 | R6年度目標値を達成できなかったこと、かつ、R5年度実績よりも多い医療費額の結果となった。<br>主な要因としては入院外来ともに微増となり、三大疾病に関連する医療費の割合に増加傾向が見られ、特に脳梗塞による入院医療費の割合増加が顕著であった。このことから、重症化予防が可能な生活習慣病などの疾病、フレイル等の予防に努めるべく、引き続き、保健・介護事業の一体的実施をはじめとした積極的な健康教育、健診勧奨や保健指導等を通じ、健康寿命の延伸並びに医療費の抑制に努めたい。<br>このほか、国保同様に重複受診、多剤処方等の対象者にも対応できるよう、専門職人員の増強や、外部委託等についても検討していきたい。 | | | No14-05, No14-12 | |
| 令和6年度 | 1,004千円 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 892千円（現状維持） | | | | |
| 評価 | 後退 | | | | |

## (15) 学校教育

担当課　学校教育課

| 指標名 | 不登校児童生徒の割合 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 2.1% | 関連施策を実施したことにより、不登校児童生徒の多様な学びの場の確保等、当該児童生徒に関する支援は手厚くなっているが、実績としては後退している。<br>しかしながら、不登校の原因を分析し、特性や状態に合わせた対応を心掛け、別室登校も含めた細やかな対応をすることで、不登校を減らす取組をしており、当該施策は継続して行う必要はある。<br>当該児童生徒を減らすことも重要だが、多様な学びの場を確保することによる学習機会の確保が重要であり、どちらにも対応した施策を図っていきたい。 | | | No15-03 | |
| 令和6年度 | 2.6% | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 1.0% | | | | |
| 評価 | 後退 | | | | |

担当課　学校教育課

| 指標名 | 全国学力・学習状況調査（８項目）結果（国の平均正答率以上の項目率）（小） | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 44.4%<br>(4/9項目) | 関連施策を実施したことにより、当該目標を達成しており、全項目において、全国平均以上を達成している。<br>これまでの結果から理科専科の加配教員の配置等、当該施策が学力向上に繋がっているのは明らかであるが、成果が持続的な定着につながるかどうかは今後の重要な検証課題である。したがって、引き続き調査結果を注視しつつ、持続的な成果につながる施策の展開を図っていきたい。 | | | No15-01 | |
| 令和6年度 | 100.0%<br>(8/8項目) | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 62.5% | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

担当課　学校教育課

| 指標名 | 全国学力・学習状況調査（11項目）結果（国の平均正答率以上の項目率）（中） | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 7.7%<br>(1/13項目) | 関連施策を実施したことにより、現時点では大きな変化は見られないものの、既存の取組を継続することで一定の状態を維持している。<br>中学校は小学校と異なり、教科ごとに担当教員が分かれているため、同学年を２つのグループに分けた習熟度別授業の実施や指導方法工夫改善など、学力向上に向けた対策を進めている。こうした取り組みにより一定の成果は上がっているものの、目標には達していない。<br>目標達成に向け、現状の施策を継続しつつ、今後の施策について検討していきたい。 | | | No15-01 | |
| 令和6年度 | 10.0%<br>(1/10項目) | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 72.7% | | | | |
| 評価 | 維持 | | | | |

担当課　学校教育課

| 指標名 | 体力・運動能力、運動習慣等調査（８種目）結果（国平均以上の種目率）（小） | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 男子87.5%(7/8種目)<br>女子50.0%(4/8種目) | 関連施策を実施したことにより、現時点では前進したもの（女子）と後退したもの（男子）があり、既存の取組を継続することで一定の状態を維持している。<br>体力向上の取り組みについては、地道な習慣づけが肝要であり、当該児童の運動に対する意識を向上させる必要があるため、当該調査の結果を基に良いところは伸ばし、悪いところは改善する指導を継続しつつ、目標達成に向け、新たな施策について検討していきたい。 | | | No15-06 | |
| 令和6年度 | 男子50.0%(4/8種目)<br>女子75.0%(6/8種目) | | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 63.5% | | | | | |
| 評価 | 後退 | | | | | |

担当課　学校教育課

| 指標名 | 体力・運動能力、運動習慣等調査（８種目）結果（国平均以上の種目率）（中） | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 男子22.2%(2/9種目)<br>女子0.0%(0/9種目) | 関連施策を実施したことにより、現時点では前進したもの（女子）と後退したもの（男子）があり、既存の取組を継続することで一定の状態を維持している。<br>体力向上の取り組みについては、地道な習慣づけが肝要であり、当該生徒の運動に対する意識をかえる必要があるため、当該調査の結果を基に得手不得手を理解したうえで苦手を克服し、得意な部分を伸ばす指導をすることは継続しつつ、目標達成に向け、新たな施策について検討していきたい。 | | No15-06 | |
| 令和6年度 | 男子0.0%(0/9種目)<br>女子11.1%(1/9種目) | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 75.0% | | | | |
| 評価 | 後退 | | | | |

担当課　学校教育課

| 指標名 | 学校教育環境づくり（トイレ改修）※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 1 | 関連施策を実施したことにより、トイレの洋式化率１００％と目標を達成したため、Ｒ６年度で終了している。<br>全ての施設の洋式化が終了しており、感染症予防の観点からもウイルスの飛散防止及び学校施設の環境の向上を図ることができ、児童生徒及び教員の安心・安全な環境が整えらえた。 | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | 1 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 75.0% | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

担当課　　学校教育課

| 指標名 | 特別支援教育支援員の配置人数※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | ７人 | 関連施策を実施したことにより、効果を発揮し、当該児童生徒の学習環境が確保された。しかしながら適正な配置人数が当該特別な支援を必要とする児童生徒数により変動するため、指標の人数が必ずしも適切とは言えない状況を考慮しＲ６年度で終了指標としている。 | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | ７人 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | ７人 | | |
| 評価 | 達成 | | |

## (16)　社会教育

担当課　　社会教育課

| 指標名 | 「江差町歴史文化基本構想」に基づく「宝箱」の設定 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 0件 | 町の文化遺産の保存・活用に向け文化遺産をデータベース化し、登録された文化遺産を「江差のお宝」と称し、それぞれの文化遺産を地域の歴史的、地域的関連性（ストーリー）に基づく関連文化財群を「宝箱」として設定し、ストーリーに基づく一定のまとまりとして捉え活用していくこととしている。<br>R6年度までに1件の設定を目標としていたが、宝箱設定の方針について協議が整わず設定ができなかったため「維持」となっている。<br>改めて宝箱の設定の方法や内容について関係機関などとの協議を進めていきたい。 | No16-17 |
| 令和6年度 | 0件 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 1件 | | |
| 評価 | 維持 | | |

## (17) コミュニティ

担当課　まちづくり推進課・産業振興課

| 指標名 | 空き店舗利活用件数 | KPI | ○ | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 累計10件 | （ま）空き店舗を活用した起業創業に対して、交付金による支援を実施したことで、指標を達成できた。<br>引き続き財政的な支援を継続していく一方で、経営支援など、財政的支援に加えて多面的な施策を検討することで、安定して事業が継続できる環境を整え、地域全体の活性化につなげていきたい。<br>（産）住民等によるコミュニティ活動の場への創出のため各種団体にて交付金の活用を通じて、空き店舗の有効活用が図られていることから指標を達成できたと評価できる。既存の活用団体のほか、新たに空き店舗の活用が図られ、地域全体の活性化に繋がるよう交付金のブラッシュアップさらに多面的な施策を検討していきたい。 | No04-01, No17-03 |
| 令和6年度 | 累計11件 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 累計10件 | | |
| 評価 | 達成 | | |

担当課　まちづくり推進課

| 指標名 | 連携先大学等の増※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | ２校 | R3年度に公立はこだて未来大学との連携協定を締結し指標を達成した。<br>これまでにも、学生の参加による地域イベントの運営や、研究成果を活かした提案など、実際の活動を通じて一定の成果が見られた一方で、連携を一層発展させるためには、継続的かつ具体的な事業の展開が必要である。<br>R7年度からは総合戦略を改訂し、新たに「デジタルの視点」が加わることから、データ活用やICTを活かし人口減少社会に対応したまちづくりを検討していく必要がある | No17-04 |
| 令和6年度 | ２校 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | ２校 | | |
| 評価 | 達成 | | |

## (18)　移住・定住・交流

担当課　　まちづくり推進課

| 指標名 | 地域おこし協力隊の隊員数※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 0人 | R6年度までは、地域おこし協力隊が地域に十分に定着しなかったことから、受入体制の整備や任用後の支援に課題があり、結果として積極的な受入を見送っていたため、目標として掲げた「協力隊数の増加」については指標を達成することができなかった。<br>しかし、R6年度より制度の有効性を改めて見直し、受入に向けた準備や募集活動を積極的に実施した結果、R7年度には新たに1名の隊員を任用することができた。<br>今後は、協力隊員が地域に定着し、地域の担い手として活躍できる仕組みづくりが重要となるため、多様なサポート体制を整備していき、地域外人材の力を地域の持続的な活性化につなげていきたい。 | | | No18-10 | |
| 令和6年度 | 0人 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 4人 | | | | |
| 評価 | 維持 | | | | |

担当課　　まちづくり推進課

| 指標名 | おためし暮らし住宅利用件数※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 0棟・0件 | R４年度開始の江差町公共施設等長寿命化計画において、築55年と老朽化が著しいおためし暮らし住宅が「用途廃止・除却を検討」と位置づけられたことから、R4年度におためし暮らし住宅としての用途を廃止しており0棟が継続している。<br>現状の対策としては、移住希望者からの相談対応（住居・仕事など、相談内容に応じ個別に対応）を実施しているが、住居も仕事も不足しており、移住希望者の希望に沿った案内がほとんどできていない状況である。<br>今後は町内空き家の実態を把握し、空き家バンクの整備や空き家を活用した新たなおためし暮らし住宅を整備、移住目的で取得した空き家の改修費用を助成（空き家リノベーション支援）や大学連携の中で事業承継、雇用創出に関する取り組みを実施していく | | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | 0棟・0件 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 2棟・20件 | | | | |
| 評価 | 維持 | | | | |

## (19) 土地利用

担当課　財政課

| 指標名 | 町有未利用地の売却 | KPI | ○ | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 累計15件 | 件数は目標値を下回っているが、R6年度売却実績3筆13,087㎡で概ね達成と判断し、今年度の評価は「維持」とした。引き続き、未利用地売却を積極的に進めたい。 | No19-10 |
| 令和6年度 | 累計18件 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 累計５件 | | |
| 評価 | 維持 | | |

担当課　建設水道課

| 指標名 | 都市機能誘導区域内に誘導・整備した施設数 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 累計１施設 | R6年度、コミュニティプラザえさしの建設により１施設が整備され目標を達成した。これにより、中心市街地における交流空間が生まれ、町民の社会参加や生きがい創出、多世代間のコミュニケーション活性化が図れることが期待できる。<br>また、現在道の駅の整備も計画中されており、さらなる誘導整備が取り組まれている。 | No19-02 |
| 令和6年度 | 累計1施設 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 累計１施設 | | |
| 評価 | 達成 | | |

担当課　建設水道課

| 指標名 | 都市機能誘導区域内で実施した賑わい創出のための社会実験等の実施件数 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 累計１件 | R6年度の実績はなかったため評価は「維持」となった。各種事業について社会実験の実施によりより効果的なものとすることができると想定されるため、実施計画者との接触を図りつつ、社会実験の実施を促進するための方策を検討していきたい。 | | No19-03 | |
| 令和6年度 | 累計１件 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 累計３件 | | | | |
| 評価 | 維持 | | | | |

担当課　建設水道課

| 指標名 | 都市機能誘導区域内に空き家リノベーションなどで形成した賑わい拠点の件数 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 累計２件 | まちづくり推進交付金を活用した空き店舗の活用がみられており、空き店舗解消による中心市街地のにぎわい並びに魅力の維持向上が期待される。<br>今後は既存店舗や商店街への対応を含めた中心市街地の回遊型のまちなか拠点づくりへの取組が課題である。 | | No19-02, No19-04, No19-05 | |
| 令和6年度 | 累計２件 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 累計２件 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

担当課　建設水道課

| 指標名 | 居住誘導区域内における空き家活用による住居の確保件数 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 累計５件 | 低未利用土地等確認書の発行や子育て世帯住宅取得助成事業の効果がみられ、R6年度は3件の実績があった。既存ストックを活かした住宅確保により地域コミュニティ並びに居住密度の維持に効果があったと期待される。<br>今後は活用できない粗悪な空き家の解消による建築用地の確保についても検討が必要である。 | | No19-09 | |
| 令和6年度 | 累計８件 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 累計５件 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

担当課　建設水道課

| 指標名 | 居住誘導区域内における空き家リノベーションなどで形成した身近な拠点の件数 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 累計１件 | １施設（津花町・楠遊蔵）が形成され継続して運営されており、祭の際の地域の拠点として利用されるなど身近な拠点として活用されていることが伺え、歴史・文化とともに息づくコミュニティの場や絆をまもり地域の愛着や活力を育むことに寄与していると考える。<br>このような地域コミュニティ施設に対しての整備助成等は現状ないが、支援の必要性があるかを検討していきたい。 | | No19-02 | |
| 令和6年度 | 累計１件 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 累計１件 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

## (20) 住宅・住環境

担当課　財政課

| 指標名 | 町営住宅の管理戸数 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 405戸(86棟) | 管理戸数に変動はないが、公営住宅長寿命化計画に基づき適宜、維持補修や維持改修、必要な点検等を行っており、引続き適切な維持管理に努めたい。 | | No20-07, No20-08 | |
| 令和6年度 | 405戸(86棟) | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 現状値より減少 | | | | |
| 評価 | 維持 | | | | |

担当課　総務課

| 指標名 | 空き家利活用登録件数※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 累計０件 | 空き家の利活用は、R7年度実施する空家実態調査の中で不良度判定を行うことから、利活用できる空家は判明すると考える。その後、庁内検討委員会や空家等対策計画において、役割分担を行っていく予定です。 | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | 累計０件 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 累計20件 | | | | |
| 評価 | 維持 | | | | |

## (21) 道路・河川

担当課　建設水道課

| 指標名 | 江差町橋梁長寿命化修繕 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 15橋中４橋 | 第３椴川橋架換工事において、新橋が令和６年度に工事が完成し、令和７年度に供用を開始する予定。残す旧橋を次年度以降に解体することで一つの事業が完了となる。また、R7年度に鰔川大橋修繕を着手しR8年度工事着工を予定している。引き続き予防保全を推進し橋梁長寿命化を図っていきたい。 | | No21-01, No21-10 | |
| 令和6年度 | 15橋中４橋 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 15橋中９橋 | | | | |
| 評価 | 維持 | | | | |

担当課　建設水道課

| 指標名 | ＪＲ江差線線路跡地新設道路改良 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | ４路線中２路線 | 令和４年度砂川４号通りの道路改良工事が完了し、目標値を達成した。第３椴川橋架換に伴い町道椴川１号通り改良整備をR7年度に予定している。 | | No21-02 | |
| 令和6年度 | ４路線中２路線 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | ４路線中２路線 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

担当課　　建設水道課

| 指標名 | 江差町町内会等管理街灯修繕等助成金交付事業 ＬＥＤ改良率※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 98.3% | 町内会等が管理している街灯の1,060基がＬＥＤへ改良され、目標値を達成した。これにより、通年維持管理としての使用電力量が少なくなり、町内会等が維持、継続していくために必要な費用負担が軽減された。<br>今後も街灯の維持管理が続いていくことから、簡易修繕等助成を継続して負担軽減を図ったいきたい。 | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 98.3% | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 80.0% | | |
| 評価 | 達成 | | |

## (22) 港湾・漁港

担当課　産業振興課

| 指標名 | 江差港入港隻数 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 927隻 | 前年に比べ漁船数増となり、岸壁使用料（入港料含）が増加。また、漁船含め入出港が増加することで港の賑わいに繋がることから、前進評価となった。今後は、珪石搬出や風力事業等での入港増が期待できる。 | | No22-02, No22-03, No22-04, No22-05, No22-06, No22-07, No22-08 | |
| 令和6年度 | 1,093隻 | | | | |
| 目標値 令和6年度 | 1,500隻 | | | | |
| 評価 | 前進 | | | | |

担当課　産業振興課

| 指標名 | 江差港港湾用地使用件数※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 55件 | 使用件数は減少しているが、後述のとおり港湾活用の活性化へ繋がっている。後期基本計画で本指標に代わる新指標「江差港港湾施設使用料」を設定しているが、今後、風力事業荷役など、1件で長期間及び面積大の利用が増える見込みであるため件数比較ではなく、歳入比較へ変更。 | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | 43件 | | | | |
| 目標値 令和6年度 | 45件 | | | | |
| 評価 | 後退 | | | | |

## (23)　地域公共交通・情報通信

担当課　　まちづくり推進課

| 指標名 | 地域公共交通網の実態把握・分析※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 地域公共交通計画の策定 | R５年度に策定した地域公共交通計画に則り、地域公共交通の維持確保に向けた取組を実施。<br>既存の地域公共交通網を補完する新たな公共交通として、過年度の実証実験で得られた知見を活かし、８月からはAIオンデマンド交通「江差マース」の本格運行を開始。１日あたりの乗車人数が目標値を突破するなど、江差町民の新たな足として定着しつつあると評価できる。<br>また、バス路線が廃線となった北部地域を対象に、完全予約制の北部乗合タクシーの運行を開始するなど、地域公共交通網の把握・分析を行い、再構築を進めている。 | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 把握・分析・再構築 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 把握・分析 | | |
| 評価 | 達成 | | |

## (24)　上下水道

担当課　　建設水道課

| 指標名 | 水洗化率 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 62.4% | 集合住宅等の大規模需要が見込まれる地区を中心に整備（Ｒ6新規接続：11件）。R7年度には道職員住宅2棟の接続が予定されており、今後の水洗化率向上が見込まれている。 | | No24-05 | |
| 令和6年度 | 62.3% | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 61.3% | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

担当課　　建設水道課

| 指標名 | 江差町再構築計画に基づく施設統合実施率※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 66.6% | 平成27年度から計画を進め、令和6年度においては平成27年度比33.4%の施設を削減した。施設削減による効果額は最大で40,000千円となっている。<br>現状の給水量では砂川浄水場の水処理能力では供給不可のため、今後の人口減少や水需要を想定しながら再編する | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | 66.6% | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 66.6% | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

## (25) 環境衛生

担当課　総務課

| 指標名 | ゴミ排出量（生活系・事業系） | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 383kg/人 | 僅差で目標を達成することは出来なかったが、リサイクル量の増加に伴い、前年度よりも目標値には近づいている現状。町民にリサイクルを呼び掛けるなどゴミの排出量を減らしていきたい。 | | No25-04 | |
| 令和6年度 | 382kg/人 | | | | |
| 目標値 令和6年度 | 380kg/人 | | | | |
| 評価 | 前進 | | | | |

担当課　総務課

| 指標名 | リサイクル量（空き缶・ペットボトル・小型家電） | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 5.2kg/人 | 広報等により継続的なリサイクルの周知を行い前年度同様目標値を達成することが出来た。目標値達成に向けてR7年度以降も継続して周知を行っていく。 | | No25-03 | |
| 令和6年度 | 5.4kg/人 | | | | |
| 目標値 令和6年度 | 4.3kg/人 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

## (26)　自然環境・エネルギー

担当課　　総務課

| 指標名 | 町内海岸清掃活動等回数 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 19回 | 僅差であるが、前年度よりも回数が減少してしまった。例年清掃活動を行う団体は固定されているため、新しい団体の呼び込みや、町で清掃を行ったりと目標を達成できるよう努めていきたい。 | | No26-09 | |
| 令和6年度 | 18回 | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 現状より増加 | | | | |
| 評価 | 後退 | | | | |

## (27) 公園

担当課　財政課

| 指標名 | 公園の遊具・設備の更新又は整備※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 都市公園５、逆川森林公園１、道立自然公園、かもめ島１ | 現存の施設及び設備の長寿命化を図るため、引き続き、予防保全的な補修対策や改善等の計画的な維持管理に努めたい。 | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | 都市公園５、逆川森林公園１、道立自然公園、かもめ島１ | | | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 都市公園５、逆川森林公園１、道立自然公園、かもめ島１ | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

## (28) 消防・救急・防災

担当課　総務課

| 指標名 | 防災訓練実施回数（町内会等含む） | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 3回 | R４年度から継続して実施している江差高校との１日防災学校のほか、町内会（愛宕、新栄、豊川）との合同訓練を実施。引き続き地域住民の防災への意識啓発の促進や、訓練等を通じ避難行動等の定着を図っていきたい。<br>今後は町内会への各種事業等において周知を行い避難訓練につなげていきたい。また、令和7年度において整備される防災行政無線システムを用いた訓練を今後検討していきたい。 | No28-04, No28-06, No28-07 |
| 令和6年度 | 4回 | | |
| 目標値 令和6年度 | 8回 | | |
| 評価 | 前進 | | |

担当課　総務課

| 指標名 | 防災備蓄整備進捗率 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 94.2% | 地域づくり総合交付金を利用し、総合計画で定める「防災備蓄整備進捗率」を満たすよう、整備中。R７年度も同様に整備を進めていく。<br>R2年度から地域づくり総合交付金（道交付金）を活用し備蓄品を整備してきたことでR2年度77.78%からR6年度96.47%まで整備が進んだ。しかし、R6年度目標値には達しなかったため、R7年度以降も同交付金を活用し整備を推進する | No28-08, No28-13 |
| 令和6年度 | 96.5% | | |
| 目標値 令和6年度 | 100.0% | | |
| 評価 | 前進 | | |

## (29) 交通安全・防犯・消費生活

担当課　総務課

| 指標名 | 町内の飲酒運転検挙件数（年）※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 0件 | R6年度に町内で１件の飲酒運転検挙があった。飲酒運転根絶に向けた更なる啓発を図っていく。 | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | 1件 | | | | |
| 目標値 令和6年度 | 0件 | | | | |
| 評価 | 後退 | | | | |

担当課　総務課

| 指標名 | 交通安全指導員数※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 7名 | 町広報誌で指導員を募集しているが、応募がない状況。指導員の高齢化が進んでいるため、新しい指導員が確保されるよう引き続き町広報誌等で募集をしていきたい。 | | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし | |
| 令和6年度 | 7名 | | | | |
| 目標値 令和6年度 | 12人 | | | | |
| 評価 | 維持 | | | | |

## (30) 行財政運営

担当課　財政課

| 指標名 | 実質公債費比率 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 12.3% | R6年度実績は11.9%となり、前年度より比率の低下が図られたが、今後の大型事業の実施等に伴い比率上昇が考えられるため健全な財政運営の取り組みを継続する必要がある。 | | No30-01, No30-02, No30-03, No30-08 | |
| 令和6年度 | 11.9% | | | | |
| 目標値 令和6年度 | 早期健全化基準（18%）以下 | | | | |
| 評価 | 達成 | | | | |

## (31) 広報・広聴・協働

担当課　まちづくり推進課

| 指標名 | まちづくり懇話会の開催 | KPI | | 区分 | 継続 |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価内容 | | | | 関連施策No | |
| 令和5年度 | 年２回（分野別） | 単年度ごとの目標値は達成できなかったが、まちづくり懇話会の開催主旨はテーマ（課題）があり、協働のまちづくりのため、町民等の意見聴取することを目的としているため、年３回ということよりも開催することが重要であることから、成果指標を変更したもの。 | | No31-04, No31-07 | |
| 令和6年度 | 年2回（地域別） | | | | |
| 目標値 令和6年度 | 年３回（分野別） | | | | |
| 評価 | 維持 | | | | |

担当課　まちづくり推進課

| 指標名 | ホームページアクセス件数※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 年178,578件 | ホームページのリニューアルを前提とした指標であり、現状リニューアルが出来ていないことから、終了指標としたもの。なお、リニューアル時には下記の変更を検討している<br>（1）現状、1100ページほどあるものを850ページまで圧縮<br>（2）特設ページ（①ふるさと納税、②議会）の作成<br>（3）災害時に災害用トップページに切り替わる仕組みの構築<br>（4）庁舎内のLGWAN回線ではなく、一般のネット回線側での運用により庁舎が被災しても対応可能な仕組みの構築 | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 年163,938件 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 年500,000件 | | |
| 評価 | 後退 | | |

担当課　まちづくり推進課

| 指標名 | お問い合わせフォームの利用件数※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 45件 | お問い合わせフォーム設置により24時間365日江差町への問い合わせを受付可能になり、各課において、事務や現場確認を行い対応を行っている。<br>お問い合わせフォーム利用件数となっているが、利用件数（運用方針に伴わない件数）を含めると400件を超えている。実績で記載しているものは、問い合わせ件数のうち運用方針に基づく回答件数となっている。 | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 25件 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 年100件 | | |
| 評価 | 後退 | | |

担当課　　まちづくり推進課

| 指標名 | 北海道江差観光みらい機構の観光情報ポータルサイトとの連携※R6年度終了 | KPI | | 区分 | 終了 |
|---|---|---|---|---|---|

| 評価内容 | | | 関連施策No |
|---|---|---|---|
| 令和5年度 | 連携 | ポータルサイトとの連携により観光情報をタイムリーに更新できている。<br>観光情報ポータルサイトとの連携は今後も継続予定であるため、課題ではないという認識で、終了指標としたもの。 | 終了指標のため、R7年度実施計画には掲載なし |
| 令和6年度 | 連携 | | |
| 目標値<br>令和6年度 | 連携 | | |
| 評価 | 達成 | | |